

特集・上社山出し！

勇壮の舞

両角仏壇・茅野店 in 穴山大曲の章

絶景ポイント

「茅野店ご案内」

御柱街道沿いにあり昔ながらの和風の店で間口は狭いながらも中に入ると仏壇展示場からは日本庭園調の庭と八ヶ岳を眺められます。御柱山出しの際に最初の見せ場となる大曲のある穴山はほとんどの柱が通過する初日が一番賑やかで盛り上がります。

休憩場所も用意しておりますので是非お立ち寄り頂き間近で勇壮な姿を御覧下さい。

御柱用にオシャレなお守りの腕輪念珠を身近な方への「プレゼント」に「記念品」にご用意致しました。ご来店を心よりお待ちしております。

…お勧めの品…

松栄堂・法輪シリーズ・堀川（スティック渦巻き）1500円
店長 小林睦子

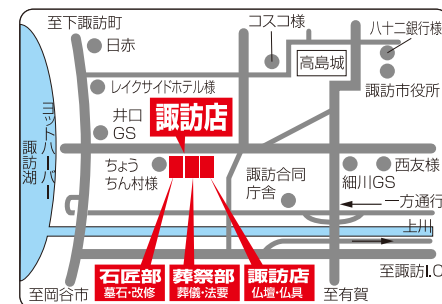
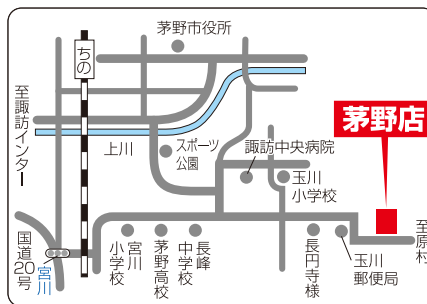


両角仏壇
茅野店
in
穴山大曲の章

▽ 独り言・1・「回転飲茶」の巻 △

読売新聞に「大研究・グルメ産業」という特集記事が掲載されています。私も毎回楽しみに読んでいた一人です。2月の初旬に横浜中華街の「回転飲茶」が紹介されました。なんでも主婦に大人気！ とのこと。その「売り」と「アイディア」をあらためて紹介します。 1) 回転寿司の様にベルトコンベアーに乗って中華料理の小皿が次々と流れてくる。ショウロンポー・エビチリ・酢豚・約50種類 2) 食べ放題・なんと1260円 6割がリピーター・味は本格派 3) 冷凍食品は使用せずに全て手作り・ソースもオリジナル 4) 点心類をヒーターで温めながら回すのでいつも熱々状態 5) 客の個別注文もOK・料理人がカウンター越しに鍋を振り出来立てを出してくれる。・・・お客さんの評判は「御馳走さま」から「ありがとう」にかわった！ との事。ここまでの道のりは大変だったそうです。・・・そんな素晴らしいお店があるとは知らずに、昨年ブラリと中華街に出掛け甘栗とちょとした中華街の料理で済ませ満足気に帰った自分は何だったのか!と・・・ 事前にネットで調べるべきでした。

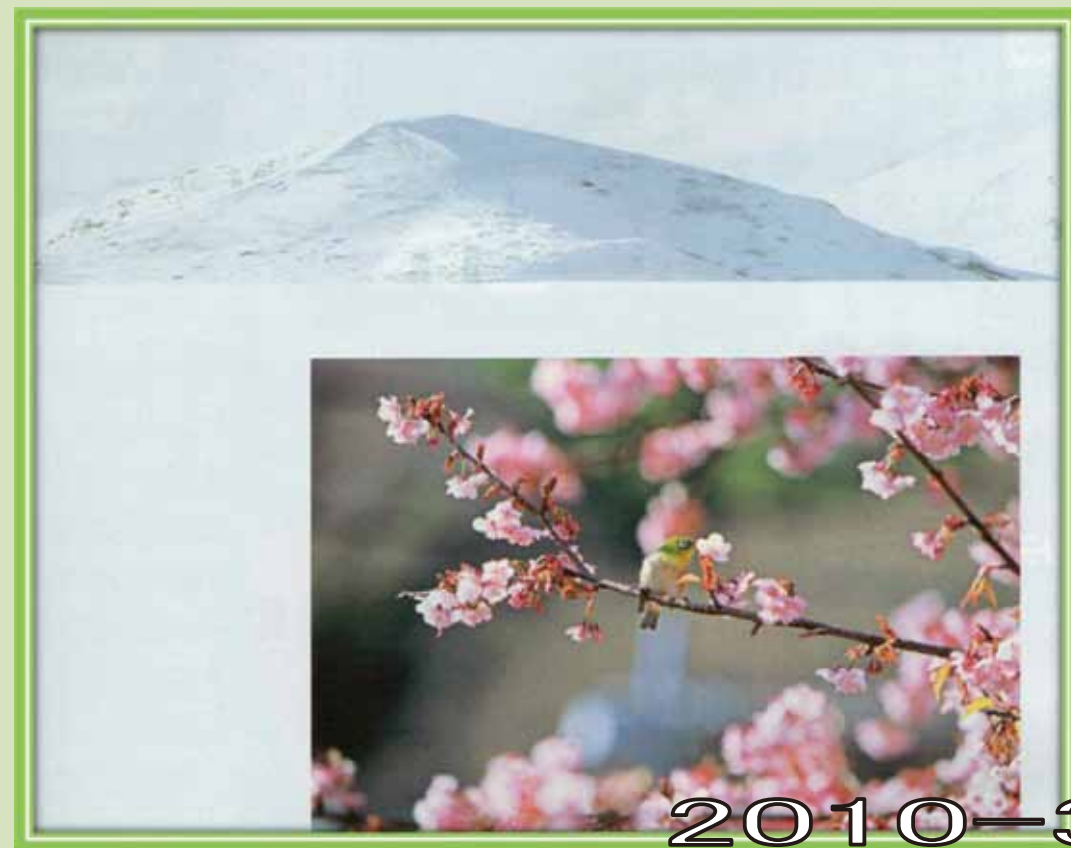
これからの方・是非立ち寄って「感想」をお聞かせ下さい。



株式会社 両角 佛壇

茅野穴山店／茅野市玉川穴山7516 ☎0266-79-3014 FAX.0266-79-3028
諏訪高島店／諏訪市高島3-1410 ☎0266-53-5233 FAX.0266-53-9272
石匠部／諏訪市高島3-1410 ☎0266-56-3311 FAX.0266-56-3312
葬祭部／諏訪市高島3-1410 ☎0266-53-7100 FAX.0266-53-5060
<http://www.morozumi.jp>

『メモリアル・便り』



2010-3
VOL-1

- 1 特集
- 2 メモリアル・両角葬祭
- 3 上社・山出しを3倍楽しむトッテオキ情報

お寺巡り 臨江山 温泉寺

- 開山－寛永17年（1640年）泰嶺玄末
- 開基－高島城 二代目藩主 諏訪忠恒



■上諏訪駅を起点に旧道（甲州街道）を下諏訪方面に徒歩で10分程往くと右に上がる坂道があり矢印を添えて「温泉寺」と書かれた道標があります。チョット急な坂をほんの少し歩むと目の前にその堂々たる姿が飛び込んできます。

幅3メートル位はあろうかと思われる白御影石の石段を登り山門をくぐり境内に入ると左手の「しだれ桜」の古木が目につきます。「忠恒櫻」と命名されそのいわれが書かれており開花の時を迎えるとその見事な姿に多くの旅人がカメラを向けると伺っております。右手には「高島城の能舞台」を移築し建立された本堂がその歴史を伝えるかの様にどっしりと構えて迎えてくれます。時折訪れて境内に立つと何とも落ち着き自身の内面を見つめてしまします。

本堂に向い左手には「鐘楼」がありそのう上に立つと眼下に湖を中心に広がる諏訪の街が一望でき、晴れた日には湖面の輝きと街の美しさに見入ってしまいます。毎年「大晦日」の12月31日になると人間の煩惱をしずめる百八の鐘の音が街に響き渡るのかと思うとき、その意味の深さと・私達と「お寺様」との関わりに想いを巡らさずにはられません。

■そういえばロボット研究で高名な方がこんな話していました「ロボットはどんどん人間に近づいてくるが人間はロボットになってはいけない。その為には、人間にとって哲学が必要となってくるのです。」と・・・百八の鐘の音と・今の自分と・世相が混じり合い妙に頷ける話として心に蘇ってきました。



◆会報発刊に寄せて◆

平素は当店をお引き立て頂き衷心より御礼を申し上げます。

茅野市穴山（現茅野店）にて仏壇製作販売を生業として百五十有余年の歳月を刻んで参りました。また諏訪店におきましては「仏壇販売」「メモリアル両角葬祭」「石匠部」とお客様のニーズにお応えするべく事業展開を進めてまいりました。それにつけても近年の著しいライフスタイルの変化の速さには驚きます。

私共もより一層皆様のご要望に的確にお応えすべく会報を発刊する事と致しました。弊社の日々の仕事の取り組み・業界ならではの情報等々を盛り込んだ内容に仕上げて参りたいと考えております。お手元に届きましたら手に取り開いて頂ければこれ程の喜びはありません。

「春三月・生命躍動の時」を迎えました。皆様のご健勝をお祈りしつつ発刊の挨拶とさせて頂きます。

（株）両角仏壇

代表取締役

両角 匠一



唐木仏壇



仕様



玉響（たまゆら）

華月（かげつ）

新風

伝統的南本仏壇と都市型新仏壇との中間に位置する、新しいコンセプトの「新風KANKO」です。都風の都心に、本来の都風に違和感なく馴染み得るデザイン。格と機能性をも兼ね備えたNEW MODEL。仏壇です。

日頃は当店をお引き立て頂き厚く御礼を申し上げます。茅野・穴山にて手造りで1点1点の仏壇製造・販売業を興し150有余年の歳月を積んで参りました。これも偏にお客様の真心のたまものと感謝御礼を申し上げます。仏壇のデザインも近年の生活様式の多様化に合わせ変化して参りました。今回会報の発刊に当たり当店推薦の唐木仏壇をご紹介します。店内には常設基数として90基～100基を展示し皆様のご来店をお待ちしております。また、ご家庭でお守りして来られたお仏壇を「伝統と匠の技」を駆使し塗り替え・修理等の御注文も受け付けておりますのでお気軽にご相談ください。

今後皆様のご要望にお応え出来ます様研鑽に努めてまいります。どうか宜しくお願い申し上げます。

諏訪店・店長 両角 伸介

「石匠部からのご提案」・ファントーニは全てがオリジナルです。ご家族やご自身の心を形に残してみませんか？・・・お気軽にご相談下さい。

Fantoni



お聞かせください
ご家族のものがたり

～ 未来へ伝えたいあなたの想い～

あなたやご家族のかけがえない「想い」や「感謝のこころ」を物語に変えて表現すること。ファントーニは、これからの時代を生きるすべての方々へ贈る、祈りと癒しのメモリアルモニュメントです。



特集 ～試算その日の前に～

「私達・スタッフは提案します！」

平素は「メモリアル両角葬祭」をご支持頂き御礼を申し上げます。

私どもは諏訪一円の「メモリアルクラブ会員様」をはじめご要望を頂いた皆様方の・主としてお寺様での葬儀をお手伝いさせて頂いております。人生の最終章のお手伝いをさせて頂く場面は私どもスタッフにとりましては勉強という経験であると同時に、その一つ一つ全てが心に財産として残り積まれて参りました。

皆様におかれましてもお気づきの様に近年葬儀のあり方も多様化して参りました。「直葬」「家族葬」「お別れの会」「自宅葬」等々・・・「好きだった曲をBGMに」「愛していた花で飾ってあげたい」「生前の趣味を皆様に见せてあげたい」等々・・・「送る方の故人への想いを自分たちらしく表現したい」そう言った想いが濃くなったのかも知れません。そういったご希望にお応えできます様、私達スタッフもより一層心配りをして参る所存であります。

～送られる方と送る方との想いが「感謝」という一本の糸で天空高く結ばれている様な・・・そういった葬儀を志向してまいります。

従来の「メモリアル会員制度」に加えて多様化する葬儀にお応えすべく新たに「試算その日の前に」をテーマに「事前ご試算プラン」をスタート致しました。どうぞお気軽に担当者・スタッフにご相談下さい。身近な自然の中に春の訪れを目にする季節の到来となりました。心弾む私です。

メモリアル両角葬祭・マネージャー 両角 匠太郎

◆私達「メモリアル両角葬祭が」

『葬儀は菩提寺様で』と標榜する其の訳は！

□仏典には「先ず臨終の事を習い 次に他事を習うべし」と説かれています。

その時は誰人にも平等に訪れ、迎え入れる厳肅な儀式と言えるでしょう。その時、私達スタッフはどの様にお手伝いをさせて頂く事が良いのだろうか？と想いを巡らせてみました。

■凍てつく冬も・草木枯れる様な酷暑の日も・春・秋の彼岸も・欠かす事無く読経を持って朝・夕に追善の祈りを捧げ続けて下さるのは「菩提寺様」です。

その尊き祈りを捧げ続けて下さる場所での葬儀こそが本来あるべき姿では無いだろうか・・・そこでのお手伝いこそが私達の努めである」と思い当りました。

そして「葬儀は菩提寺様で」との理念を標榜するに至りました。

◆空を飛ぶ鳥にも・大海を泳ぐ魚にも道が在る様に、人には人としての道がまたあると思います。その原点を忘れ・利便性や商業主義の流れに心奪われ流されてよいのだろうか？・・・そんな素朴な疑問の念が心をよぎるのは私達スタッフだけでは無いように思われます。

それに、尊き祈りを捧げて下さる「菩提寺様」を守り支えていくのも、私達ひとりひとりの檀徒としてのつとめであるのでは無いでしょうか。

：「メモリアル両角葬祭・スタッフ一同」：

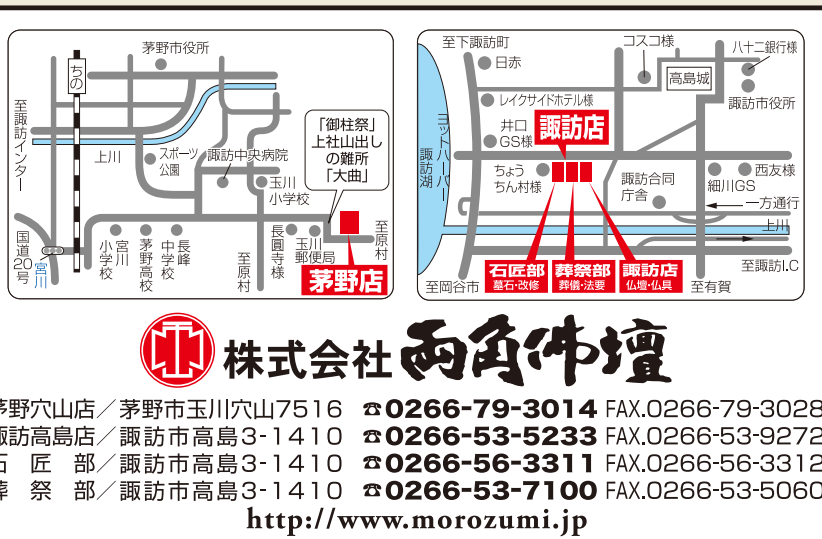
Three variations of a Japanese cabinet (Kotatsu) are shown side-by-side. Each unit features a tall, narrow central compartment with a sliding door (Fusuma) and a smaller, square central compartment (Kotatsu) below it. The left unit is dark red with a light-colored interior. The middle unit is light orange with a light-colored interior. The right unit is dark brown with a light-colored interior. The sliding doors are decorated with a pattern of stylized flowers and leaves. The central compartment has a small, square opening with a decorative frame. The units are set against a light green background.

石匠からのご提案・其の2 『Fantoni-Il』（ファントーニの特長は「彫刻にあり」）

次回・VOL-3では弊社施工例をご紹介します。ご期待ください。



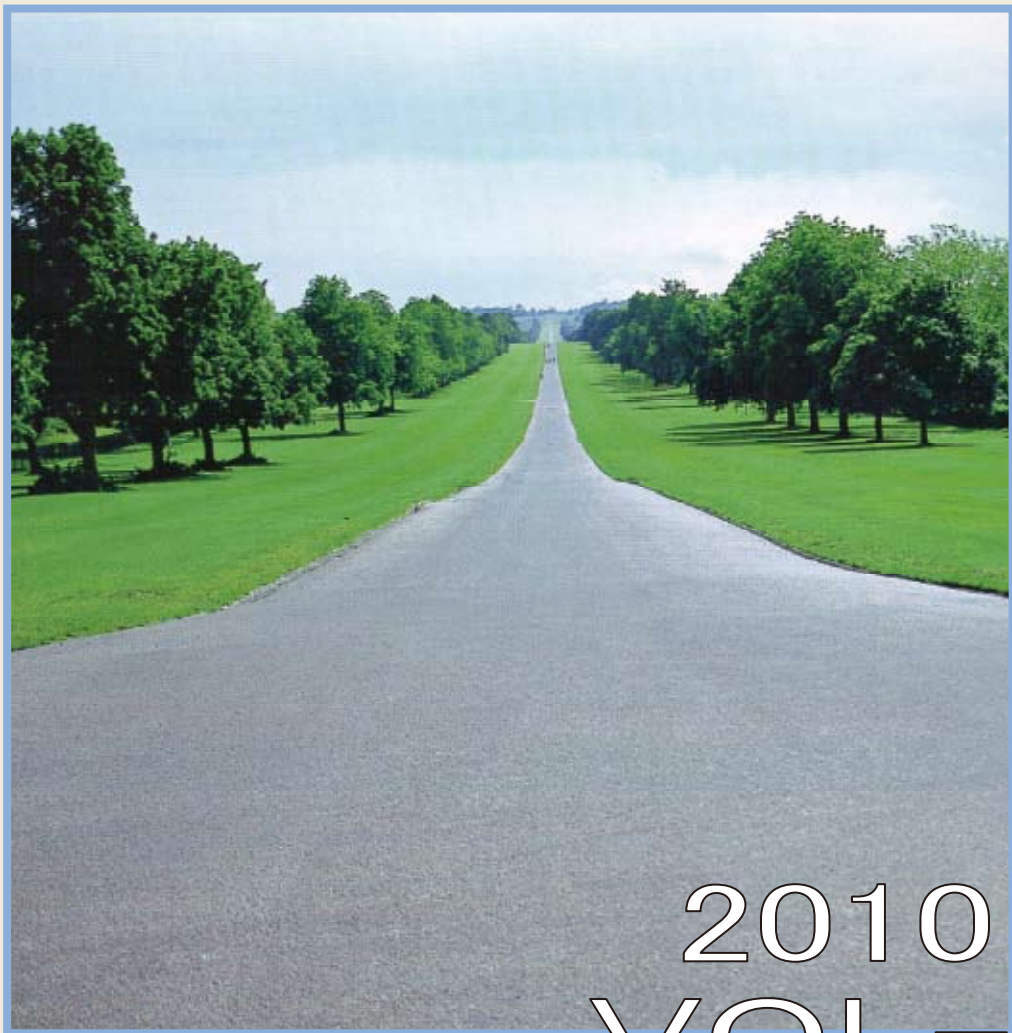
「カタログ掲載施工例よりのご紹介です。」



(株)両角仏壇企画室：〒392-0022 諏訪市高島 3-1410 ☎0266-53-5233

2010-8-VOL-2

『メロアル・便』



2010
VOL-2

- 特集：お寺巡り・長圓寺
- 仏壇：新商品のご紹介
- 墓石：ファントーニ・II
- 心に刻まれた・あの日・あの時

心に刻んだ

あの日・あの時



当時研修中であつた私は、ある日先輩に呼ばれた。「ついにその時がきた」瞬間そう感じた。葬祭業を志すものにとつての第一歩の時がきたと。田舎育ちの私は、黄昏迫る名古屋の街中を先輩の運転する車に同乗し目的地へと向かつた。車中街の灯りを見つめながら「これから、どんな体験をするのか？」その事ばかりに想いを巡らせていた。故人様は既に病院から私の勤務する会館の和室に静かにご安置されていた。

……お亡くなりになられた方が目の前にいる……

という現実がそこにあつた。六十代の身寄りの無い男性であることを先輩が話してくれた。

……お線香を手向けて死後の安穩を祈る……

私達が見つめる中、先輩が故人様への旅立ちの支度を整えはじめた。マニュアルに沿つて行う姿の中にも旅立つ方への畏敬の念と、自分の「おじいちゃん」に接するかのような優しさに溢れていた。その尊い行為は見つめる私の生命に染み入るように伝わってきた。

……そして、それが私の「原点」の日となった……

時は流れて数年後、家業を継ぐために帰郷して今日まで、いろいろな旅立ちのお手伝いをさせていただいてまいりましたが、私の原点となりました先輩の「あの日・あの時」の姿を忘れることなく、故人様・ご遺族様に安心と、納得のご葬儀をと常に心がけ対応させていただいております。

メモリアル両角葬祭・マネージャー

両角匠太郎

帰途の車中、若き頃先輩から教わつた「三本の道」の話を思い出した。それは高名な哲学者の言葉だと前置きし、「蔵の財より、身の財・身の財より・心の財、第一なり」と。「どの道を選ぶか、それは君の自由だ。いつか、思い出してくれると嬉しいな。」と、先輩は付け加えた。
……囁みしめた。そして「自問」した、「何のために生きる事が、人として尊いのかと……。」



長圓寺様は、まだまだ見どころいっぱい・心使い溢れる「お寺様」です。
詳しくは、充実した「HP」を御覧ください。長圓寺・・ [検索](#) ⇨ クリック。又は「長野県茅野市・長圓寺」クリックで是非ご覧ください。

今回、「長圓寺様」のご了解をいただき「HP」掲載写真を使わせていただきました。



秋の香りの風を感じながら季節到来の折には、是非一度足を運びたいものです。



◆私達「メモリアル両角葬祭が」
『葬儀は菩提寺様で』と標榜するその訳は！

□仏典には「先ず臨終の事を習い、次に他事を習うべし」と説かれています。

その時はだれにも平等に訪れ、迎え入れる厳肅な儀式と言えるでしょう。その時、私たちスタッフはどのようにお手伝いをさせていただく事が良いのだろうか？と想いを巡らせてみました。

■凍てつく冬も・草木枯れるような酷暑の日も、春・秋の彼岸も欠かす事無く読経を以て朝・夕に追善の祈りを捧げ続けてくださるのは「菩提寺様」です。

その尊き祈りを捧げ続けくださる場所での葬儀こそが本来あるべき姿では無いだろうか……。そこでお手伝いこそが私達の努めである」と思い当りました。

そして「葬儀は菩提寺様で」との理念を標榜するに至りました。

◆空を飛ぶ鳥にも・大海を泳ぐ魚にも道が在るように、人には人としての道がまたあると思います。その原点を忘れ・利便性や商業主義の流れに心奪われ流されてよいのだろうか？ そんな素朴な疑問の念が心をよぎるのは私たちスタッフだけでは無いように思われます。

それに、尊き祈りを捧げてくださる「菩提寺様」を守り支えていくのも、私たち一人ひとりの檀徒としてのつとめではないでしょうか。

：「メモリアル両角葬祭・スタッフ一同」

お寺巡り

真言宗 智山派

清龍山 長圓寺



久しぶりに晴れ上がった青空を緑の稜線が走り、山々の木々たちは、満々たる新しい生命を躍動させ、それぞれの新緑の輝きを放っている。見る者に新たな生命を吹き込むかのように。

前方に大きく立つ「八ヶ岳」へと続く道「通称・御柱街道」を進むと、樹齢300年と伝えられる「杉木立」が見えて



くる。そこが「長圓寺」である。

何処か、懐かしさを漂わせる風景の中に立つその姿は、日本にまだ元気のあつた、昭和30年代を彷彿とさせる。天を突くかのように、真直ぐに伸びる杉木を抱きかかえ、しっかりと大地に根を張り「凜」としてには見事な「楓の紅葉」を見に、全国から多くの観とで有名) 漆喰塗の白壁を進み、歴史を伝える山門い広さの境内が広がる。その周囲を、本堂・庫裡が取っている。 …その昔に、この程良い広さの境内で子どもたちの歓声・笑い声や・泣き声が聞こえてくるようだ。明日の晴天を約束する夕日が西の空を赤く染める頃、再会を約束し、手を振りながら家路へと急いだのであろう…。

……時の流れが穏やかで、人に「心」があつた、懐かしき、あの時代……

長圓寺様と聞けば、私たこと。それは「バングラ」にも学校を寄贈された一本庭園の見える庫裡で、った。(詳細は・HPで) ……寄贈後、お二人で何十回も訪れた様子も含め、懐かしそうに、穏やかな語り口で、気負いも無く、笑顔で話してくださった。話されるお二人の瞳に、慈光の輝きを感じ聞き入った。時折、庫裡を流れる爽やかな風が、尚一層に、私の心を清純にしていこうように思われた。



寄贈された学校



メモリアルくらぶ
会員様募集中!
入会金: 10,000円
会員様特典割引: 総額115,000円
事前ご試算もお気軽にお申し付けください。



ご葬儀割引: 63,000円



仏壇・墓石他: 47,000円



仏具券: 5,000円

お申し込み・お問い合わせは
メモリアル両角葬祭
メモリアルくらぶ
☎(0266)53-7100

仕事柄電話の呼出し音には敏感になってしまふ。それは、私達の携わっている職業が「時と場所を選べない」という事によるのかもしれない。

前回このコーナーで、研修時代の出来事を書かせていただきましたが、今回は帰郷して二年目の大晦日から新年にかけての体験を書いてみようと思います。……いつになく買い物客が行き交う街、迎える年を新年の飾り付けで祝おうとする家々。その年も暮れようとしていた。「嗚呼・今年も終るな」気もそぞろにそんな街の風景を眺めている時携帯が鳴った。仕事の依頼だ。それまでの思いは吹き飛び心のスイッチが入れ替わった。帰社し打ち合わせを済まして同僚と共に遺族の待つご自宅へと急ぎ向かう。「時が時だけに遺族の方々も、きつとご心配しているだろう」そんな思いが心を埋めていく。喪主のご長男とお打合せをし「一月四日」がご葬儀と決まり、当然の事ではあるが、同僚も私も、大晦日と正月がある様でない様な年末年始となつた。晴れわたる青空と、冬の冷気を含んだ風が穏やかに流れるなか当日の朝を迎えた。その日の天候の様に「心に染み込み・心温まるお葬儀だったな」と今でも暮れになると毎年思い出します。全てを終えご遺族様より丁重な感謝の言葉をいただき、会社に向かう車窓から沈みゆく夕陽が私達の今日一日を讃えるかのように西空を茜色に染めていた。「人の為に尽くす厚意、その厚意が自身の生命を輝けるものとする」かつて先輩より教えていただいた言葉を再認識した。忘れられない……二十五歳・新春の出来事でした。

メモリアル両角葬祭・マネージャー 両角匠太郎

「三 佛 地」(地とはかけがいの無い場所の意)

『送られる人・送る人に相応しい地(場所)で「お参りし」「送る」事が、私達仏教の基本であり、それは「魂の息づいている場所」とも言えるでしょう。それを、三佛地と呼んでいます。

第一佛地……通夜の場所として・日頃ご本人が生活を営んでいた地。自宅・もしくは準自宅

第二佛地……葬儀の場所として・菩提寺・もしくは準菩提寺

第三佛地……埋葬の場所として・墓地・もしくは準墓地

つまり、日頃お参りし手を合わせる場所の延長線上こそが、大切な葬儀を行う上で相応しい・かけがえの無い地なのです。このことは、ご門徒の皆様にも機会がある度にお話しさせていただきます。そうした一貫性こそが大切なのです。』……このように熱く語られました。

また、現代を宗教不在の時代と捉え「人が人になるための根本の教え…それが宗教です。」と明確に強く語られました。おもわず高名な平和哲学者の『宗教不在の生き方が今日の混迷する社会を創り上げてしまった。それは、人は人のために生きるという宗教の根源ともいえる「共生の精神」を忘れてしまっている事による。』との言葉を重ね合わせた。

天空に輝く星達も、見仰ぐ私も・・・共に共鳴(共生)しあいながら生きているのかもしれない。



本堂を飾るに相応しい見事な「欄間」に驚く！



第二佛地に相応しく落ち着いた、厳粛さ漂う「本堂」



「瓦」・真宗本廟（東本願寺）御影堂瓦

真宗大谷派(浄土真宗) 光照山護国院

お寺巡り

『本 正 寺』



思いあぐねて晩秋の「本正寺」を訪れた。見上げると満天の夜空に星たちがこぼれるように輝いていた。……見上げる夜空を流星が走った。

書き出す糸口を流星に祈った。「祈り」…古代、人は太陽を祈り、火を祈り、星に願いを託してきたのかもしれない。自身の人生を、家族の無事を、人々の幸を……。

自身の祈りは、やがて人生の道を開き、人々の祈りは家族の社会の道筋を開き、幸の方途を指し示して来たのかもしれない。生命の根底に祈りの無い日々の営みなどありえないように思える。

……祈りこそが、自身を社会を高く尊い頂へと昇華することができる唯一の術かもしれないと……

それに、なによりも「祈る」という行為は、人間のみに与えられ人間にしかできない行為と言えるだろう。足元に舞い集う落葉の音に耳を傾けながら、震える様に夜空に輝く星たちに別れを告げて本正寺を後にした。

◇ ◇ ◇

今回、私共の「メモリアル・便り」にご紹介させていただくに当たり、何度かお伺いしご住職であられる「第24世 釋 友昭師」と親しく懇談の機会を持たせていただいた。多忙な日々の中であつても気取らないお人柄で、いつも笑顔と真心で接してくださり頭の下がる思いであつた。心のひだに入り込むようなお話しに時の過ぎるのも忘れて聞き入ってしまった。

本正寺の御本尊様は「天正19年(1591年)」開基であると教えていただいた。今から420年前となる。『昭和5年(1930年) 今から80年前、飯田市よりこの地の開教のためにその第一歩を踏み出され、ご住職を中心に今日に至るまで、変わらぬご門徒様の厚いご尽力によって現在の本正寺があります。』と静かに語られるご住職の謙虚な振る舞いの中に忘れてはいけない「感謝」の一念を感じた。

いくつものお話しに頷いたが、印象深く残った話を記してみたい。

☆ ☆ ☆

話題は当然「葬儀」の在り方へと進み「人生の最終章をどのように送るべきか?」について基本となるお考えを話してくださいました。その内容を私なりにまとめてみました。

メモリアルくらぶ

会員様募集中!

入会金: 10,000円

会員様特典割引: 総額115,000円

事前で試算もお気軽にお申し付けください。

お寺様は各工ルに比べて過剰な設備投資がなく、維持費や人件費が少なくすみ、お施主様への負担が軽くなります。

いざという時のために……」安心をお届けいたします。

Memorial Club

お申し込み・お問い合わせは

メモリアル両角葬祭

メモリアルくらぶ

☎(0266)53-7100

引出物割引券

生花割引券

お料理割引券

スタッフ割引券

ご葬儀割引券

¥40,000

法事の引出物割引券

墓石割引券

ご位牌割引券

お仏壇割引券

¥20,000

株式会社 両角葬祭

仏具割引券

¥500

メモリアル両角葬祭

☎0266-53-7100

ご葬儀割引: 63,000円

仏壇・墓石他: 47,000円

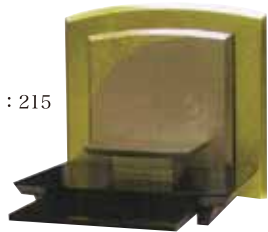
仏具券: 5,000円

両角の仏壇・Ⅲ

パーソナル供養・祈り

エグゼ

本金箱 & プラチナ箱
高：300 幅：330 奥：215
¥119,700
(本体価格¥114,000)



スマイル

左：ウォールナット
右：ナラ（アンティーク塗装）
高：300 幅：330 奥：215
¥63,000
(本体価格¥60,000)



離れて生活を営む家族が増えたのでしょうか。「絆」という言葉を耳にする機会が多い近年。そんな御家族のお一人・お一人に自分だけの祈りの場所を・・・私達「両角仏壇」からのご提案です。ご来店をお待ちしております。

石匠部からのご提案・其の3 『Fantoni-Ⅱ』（ファントーニの特長は「彫刻にあり」）

ファントーニの優れた特徴は、その自由なデザイン力と彫刻技法にあります。銘石へと刻まれた立体的オリジナル彫刻の個性あるメッセージ性は、これまでの墓石と異なった趣で、大切な家族の物語を後世へと語り継いでいきます。今回、完成写真のご紹介をもちまして「ファントーニ」の商品説明を終了させていただきます。

石についての質問等ございましたらお気軽にご連絡ください。



お客様のご了解をいただき掲載致しました。



茅野市役所
上川
茅野中央病院
茅野公園
茅野中学校
茅野小学校
茅野郵便局
茅野商店
茅野市役所
茅野公園
茅野中学校
茅野小学校
茅野郵便局
茅野商店
茅野市役所
茅野公園
茅野中学校
茅野小学校
茅野郵便局
茅野商店

茅野市役所
上川
茅野中央病院
茅野公園
茅野中学校
茅野小学校
茅野郵便局
茅野商店
茅野市役所
茅野公園
茅野中学校
茅野小学校
茅野郵便局
茅野商店

株式会社 両角佛壇

茅野穴山店／茅野市玉川穴山7516 ☎0266-79-3014 FAX.0266-79-3028
諏訪高島店／諏訪市高島3-1410 ☎0266-53-5233 FAX.0266-53-9272
石匠部／諏訪市高島3-1410 ☎0266-56-3311 FAX.0266-56-3312
葬祭部／諏訪市高島3-1410 ☎0266-53-7100 FAX.0266-53-5060
<http://www.morozumi.jp>

『メモリアル・便利』



2010
VOL-3

- 特集：お寺巡り・本正寺
- 仏壇：新商品のご紹介
- 心に刻まれた・あの日・あの時
- 墓石：ファントーニ・Ⅲ